

# コミュニティ・スクール

びんご府中版



## 府中市コミュニティ・スクールの概要

### Society5.0時代で活躍する 子供の育成と地域づくりを目指して

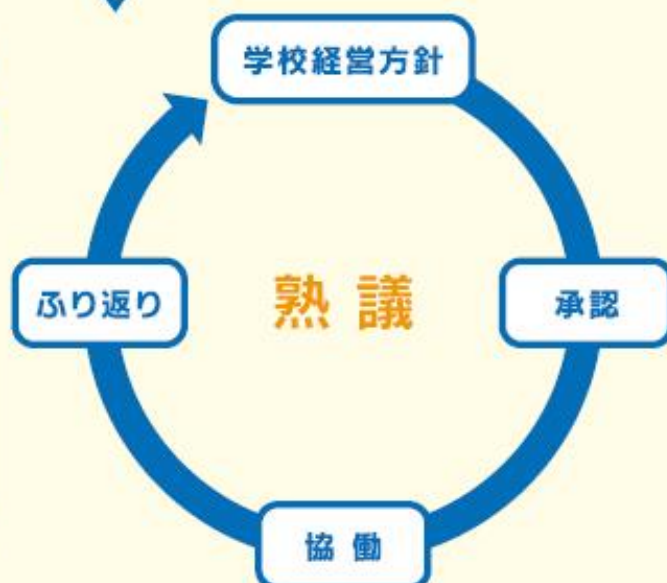
府中市コミュニティ・スクールは、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の両輪で取組みを進めている。

この両輪をつなぐ軸、それが子供たちの学び＝「社会に開かれた教育課程」である。



### 「社会に開かれた教育課程」の実現

府中市の学校運営協議会が大切にしているもの、それは教育課程を軸にした「熟議」である。



## 大切にしている 4 つの視点

### コミュニティ・スクールで学ぶ 4つの大切な視点

- ① **地域を学ぶ** (地域施設・偉業・伝統等を学ぶ場をつくる)
- ② **地域を生かす** (地域のひと・もの・ことを生かして学習をつくる)
- ③ **地域に貢献する**  
(ボランティア活動・地域貢献する過程で学校の学びを確かめる)
- ④ **地域と学ぶ** (地域の方と一緒に学ぶ場をつくる)

#### 地域を学ぶ



防災教育で危険箇所の把握

#### 地域を生かす



「まちたんけん」で地域のお店見学

#### 地域に貢献する



地域の祭りに積極的な参画

#### 地域と学ぶ



地域の大人と学ぶ読書会

地域社会・グローバル社会・未来社会で  
活躍できる子供の育成

## 府中市コミュニティ・スクールの概要

### 組織図

#### 府中市コミュニティ・スクール連絡協議会



#### 設置の歩み ~2年間の準備期間を経て学校運営協議会を設置~

平成24年度	コミュニティ・スクール全市導入決定
平成26年度	府中明郷学園（府中明郷小・中学校）
平成27年度	栗生小学校、南小学校
平成28年度	府中学園（府中小・中学校）
平成29年度	上下北小学校、上下南小学校、上下中学校
平成30年度	国府小学校、旭小学校
平成31年度	第一中学校



# 地域を学ぶ

【郷土愛の原点】

## 文化 (上下南小学校の事例)



地域に当たり前にある**豊**かな自然・歴史・文化。  
 この当たり前に敢えてスポットライトを当て  
 「学び」を仕組むことで  
 地域の**魅**力に改めて気づき、  
 関心が高まる。この関心の高まりこそ、  
 郷土**愛**を育む第一歩である。  
 また、身近な文化遺産について語ることが  
 できる人がいることは地域の宝である。



教科等を有機的につなげる  
 (総合的な学習の時間と社会科、学級活動と道徳科等)

子供や家庭、地域的人是**土**地の人。

学校職員は**風**の人。

風だからこそ気付けるその土地の**良**さ。

## 自然～あじさい～



(栗生小学校の事例)

地域のシンボリックフラワーである「あじさい」  
一つの花にスポットを当てれば、子供は**知**的好奇心を  
くすぐられ、地域の祭りの活性化を願い、行動する。  
アイアンティティに**磨**きをかけることができたこの取組み、  
「あじさい絵画コンクール」自主開催アイデアも、  
ご当地ならではの。



### 【地域の方の声】

「地域の祭りの中で保護者や学校の協力の下、あらゆる角度から  
子どもに声をかけることができました。これが、  
CSの理想の形なのではないかな。」



## 歴史～鳥居遺跡～



(南小学校の事例)

大人と子供が、一緒に「鳥居遺跡」の見学。  
感想を言い合うことを通して、大人の気づきに子供が学び、  
子どもの感性に大人が学ぶ。  
まさに「学び合いの場」となった。  
「してもらおう」「してあげる」という関係から、  
「大人と子供が一緒に学ぶ」という関係へ。



## 地域を生かす

【教育が豊かに、地域が元気に】

アントレプレナーシップ

## 企業に学ぶ (府中明郷学園の事例)



地域にある企業から、企業理念・企業努力などを主体的に学ぶことで職業観の育成に資する取組み。義務教育学校9年生のゴールイメージを地域と共有し、学校教育目標を達成するため、教育課程を協働して創造した。模擬会社「Crale(クラル)」。子供たちの願いが込められているその名には、大人が願うゴールイメージそのものであった。驚き、感動できるものが、CSには沢山ある。



### 【学習を経た生徒の声】

自分が高まったと思う資質・能力は「コミュニケーション力」と「個性を生かし、多様な他者と協力すること」です。会社設立の時に、私は得意な計算を生かせる経理部長となり、みんなと協力して会社を設立することができました。

### Crale(クラル)

クラフト  
スマイル  
暮らし

などの言葉を組み合わせ、生徒がネーミングした。



# 人に学ぶ



(府中学園の事例)

学校周辺に店舗が多い学区。**地**の利を生き、体験学習をさせていただく。仕事に誇りをもって語る店主の姿から、子供たちは多くを感じ、成長の確かな布石となる。

また、学区にある高等学校の先生がゲストティーチャーとして学校の**特色**を教えてください、その後、卒業生が、進路についてのアドバイスをくださる。

人と人とのつながりから、**豊**かな学びが数多く生まれている。

## 【地域の方の声】

このような機会を設定し、子供たちが地域に目を向ける取組みをしてもらっているのはありがたい。子供は地域の宝。



# 軌跡に学ぶ



(上下中学校の事例)

学区を表すキーワードには「天領」「銀山街道」「白壁」「隠れた日本」などがあり、外国人観光客を「上下天領ツーリズム」として、誘致している街である。そこで英語ガイドに生徒が一役買っている。いや、観光客に胸を**借**りて英会話力を高めているの



である。また、かつて、山全体をツリーと見立てたイルミネーションがあった。

これを9年ぶりに復活させたのは、小学生の思いや願いを引き受けた中学生・高校生だった。埋もれかけていた地域の財産に着目し、教育を**豊**かにした取組みである。



## 地域に貢献する

【大人の力に魅せられて】



### 地域貢献活動 (第一中の事例)



地域の方へ、日頃の感謝を伝えるため、「自分たちにできることは何か。」について、生徒会が中心となって、企画・運営した校外清掃活動や、地域の方との交流会。この活動を通して、地域とのつながりを一層自覚するものとなった。

このような思いが自然と湧いてくるのは、小学校時代、コミュニティ・スクールで育ってきているからではないだろうか。

一貫した教育と、豊かな繋がりが確かな実を結んでいる。



先輩とのふれあい

#### 【子供の声】

小さいころからお世話になっていた地域のおじさんたちが、歳を取られていた。体が大きくなった自分たちが、おじさんたちと作業をする中で自分たちも何か地域の役に立ったらいいなと思った。

## 地域と学ぶ

### 【地域の魅力再発見】



## 防災



### 【栗生小学校の事例】

土砂災害危険地域も多く、  
自主防災組織が活発な地域。  
防災マップを作成し、いざと  
いうときに備え、地域防災と  
いう意識を高める取組み。



### 【防災参観日の取組み】

- ・ 命について大人も子供も  
考えた道徳科
- ・ 防災に関する学びの発表
- ・ 救急救命講習
- ・ 児童引渡し訓練

### 【防災士さんの声】

- ・ 災害から自分の命を守るために、「大人についていく」だけではなく、  
私たち地域の防災士から学び、児童が主体的に行動できるようになることは  
非常に大切なことです。
- ・ 私たち防災士の講話を聞き、分かりやすくまとめていた。これだけ感謝されると、  
苦勞もなくなる!!! これがコミュニティ・スクールの良さか!?!

# 「みんなで高める防災力」

# 体育



(旭小学校の事例)

運動会、新体カテスト、  
マラソン大会など。

地域総ぐるみで体を動かし、  
生涯、心と体の健康を保つための  
取組み。大人にも子どもにも、  
笑顔が咲きます。



元気の輪

## 【地域の方の声】

「子供たちには、まだまだ負けない!

次は握力も測ってみたいなあ。」

「わしらも駅伝チームを作って参加したいなあ。」

## 「WIN-WIN」

コミュニティ・スクールを進めるとき、外すことができない  
おいしい視点です。

こころ

はぐく

# 本を読む

(南小学校の事例)



## 【6年児童の感想文より一部抜粋】

読書会で選んだ本は、南アルプスが舞台のワシと隼師の対決を描く、椋鳩十作品「最後のワシ」。話し合いのテーマは、「ワシは鉄格子にかみついて何と言ったか」で、みんなで自分の考えを出し合った。

私たち子どもは、「この檻を噛み切って外へ出てやる」「もう一度あの大空を自由に飛んでやる」という意見が多く出た。しかし、大人たちは、「人間の施しは受けないという抵抗心」

「空を飛んでいたころが懐かしい。もう飛べないという葛藤」という意見が出た。森の王者の最後をどう読むか、大人と子どもと解釈が大きく分かれたのがとても印象的だった。お互いの意見や考えを交流することで、大人も子どもも、どちらも学び合った読書になったという満足感が何だか気持ちよかった。」



学校運営協議会委員の皆様の写真で  
市の花「紫陽花」を形作りました

広島県府中市教育委員会  
〒726-0003 広島県府中市元町1-5  
TEL(0847)43-7178 FAX(0847)45-4233  
E-mail gakkyou\_edu@city.fuchu.hiroshima.jp





縦の糸は小中一貫教育 横の糸はコミュニティ・スクール  
織りなす布は 未来へ向かう子供たちへの 応援旗